太田川河川事務所
GoGi（ゴギ）通信
No.109

小瀬川水系河川整備計画

広島と山口の県境を流れる小瀬川の将来について地域のみなさんと一緒に考えていきます。

小瀬川

第1回「小瀬川河川整備懇談会」の様子

第1回「小瀬川河川整備懇談会」を開催
各分野の学識経験者からご意見をいただく

小瀬川の今後20～30年間の河川整備や管理の計画を定める「小瀬川水系河川整備計画（国管理区間）」を策定するにあたり、学識経験者から意見をいただくことを目的として「小瀬川河川整備懇談会」を8月31日、大竹会館で開催しました。

1回目のこの日は、経済・文化・河川工学・環境など各分野の学識経験者からなる委員8名が参加。小瀬川の特徴と課題について事務局より説明があり、治水・利水・環境の観点からご意見をいただきました。

小瀬川河川整備懇談会の内容については、太田川河川事務所のホームページに掲載してありますので、ぜひご覧ください。

住民のみなさんのご意見を参考に「小瀬川のこれからを考える会」を開催

9月15日に大竹総合市民会館、9月21日に和木町文化会館で、小瀬川の河川整備計画について住民のみなさんからご意見をうかがう「小瀬川のこれからを考える会」を開催しました。ご意見は河川整備計画の作成の参考にさせていただきます。

大竹会場の様子

和木会場の様子

小瀬川河川整備計画を策定するため、アンケートを実施しておりましたが、10月31日をもって締めきりとなりました。多数のご回答ありがとうございました。

楽しみながら水質を調査
「水生生物調査」を実施

国土交通省では、昭和59年から、小・中学生や高校生を中心に一般の方々にも参加していただいて「水生生物による水質の簡易調査」を実施しています。

川の中、特に川底に住んでいる生物を調べることによって、その地点の水質の状況がわかります。このように川の環境を教えてくれる生物を「指標生物」と呼んでいます。川遊び感覚で楽しみながら調査でき、川をより身近に感じ、水質浄化への関心を高められる機会にもなっています。

本年は7月から9月まで11団体、約220人が参加し、下表の地点で調査を行い、全般的に昨年と同様の結果でした。水質は「Ⅰ＝きれい」「Ⅱ＝少しきたない」「Ⅲ＝きたない」「Ⅳ＝大変きたない」の4階級で判定しています。調査の結果は、太田川河川事務所のホームページでも公表しています。

太田川（柴木川下流）に住むカワゲラ　※カワゲラは指標生物（I=きれい）です。

御堂原地点の調査の様子

■水生生物による水質の簡易調査「平成22年度実施結果」

水系名	河川名	調査地点名	調査地点地先名	調査月日	調査団体名等	H21判定水質階級	H22判定水質階級
太田川	太田川	柴木川下流	広島県山県郡安芸太田町吉和郷（JR可部線 戸河内駅 上流）	7月26日	安芸太田町立戸河内中学校	Ⅰ	Ⅰ
		新　轟　橋	広島県山県郡安芸太田町上殿（中国縦貫道 戸河内I.C付近）	9月16日	安芸太田町立殿賀小学校	Ⅰ	Ⅰ
		加　　計	広島県山県郡安芸太田町加計見入ケ崎（丁川合流点 下流付近）	7月9日	広島県立加計高校	Ⅰ	Ⅰ
		高山川下流	広島市安佐北区安佐町小河内沖原（JR可部線 小河内駅 上流、高山川合流点付近）	8月31日	夏期実習生	Ⅰ	Ⅰ
		壬　辰　橋	広島県安佐北区安佐町毛木沖田（JR可部線 毛木駅付近）	8月2日	広島市立清和中学校	Ⅰ	Ⅰ
		太 田 川 橋	広島県安佐南区佐東町八木細野土手外（国道54号太田川橋上流右岸）	7月27日	広島県立可部高校	Ⅰ	Ⅱ
		安 佐 大 橋	広島県安佐南区川内4丁目（安佐大橋 上流 右岸）	8月26日	広島県立祇園北高校	Ⅱ	Ⅱ
	根谷川	新　川　橋	広島市安佐北区中島（可部発電所 上流）	7月27日	広島県立可部高校	Ⅱ	Ⅱ
	三篠川	深　川　橋	広島県安佐北区深川2丁目（深川橋 下流）	9月24日	太田川河川事務所	Ⅰ	Ⅱ
	古　川	第 一 古 川	広島県安佐南区緑井6丁目（第二古川との合流点 上流）	9月24日	広島市立翠町小学校	Ⅱ	Ⅱ
		第 二 古 川	広島県安佐南区緑井6丁目（第一古川との合流点 上流）	9月24日	太田川河川事務所	Ⅱ	Ⅱ
		大　　下	広島県安佐南区緑井1丁目（山陽自動車道横過地点 直下流）	8月4日	広島市立東原中学校	Ⅱ	Ⅱ
		神　田　橋	広島県安佐南区中筋1丁目（安川との合流点付近）	8月4日	広島市立東原中学校	Ⅱ	Ⅱ
		松　原　橋	広島県安佐南区中筋1丁目（松原橋 上流）	8月4日	広島市立東原中学校	Ⅱ	Ⅱ
小瀬川	小瀬川	小　川　津	山口県岩国市小川津（JR山陽新幹線橋梁上流、小川津下流）	8月3日	大竹理科部会	Ⅰ	Ⅰ
		御　堂　原	広島県大竹市穂仁原（乙瀬橋付近）	9月3日	大竹市立穂仁原小学校	Ⅰ	Ⅰ
		両　国　橋	広島県大竹市木野（両国橋 下流）	8月25日	大竹市立木野小学校	Ⅰ	Ⅰ

小瀬川の水質について学習
大竹小学校で出前講座を実施

9月29日、大竹市立大竹小学校の4年生の授業で、小瀬川の水質について、子どもたちに理解を深めてもらうために、太田川河川事務所職員による出前講座を行いました。

子どもたちは話を熱心にメモを取りながら聞き、小瀬川の水を使ったパックテスト（水質分析）にも積極的に参加していました。

太田川河川事務所では、河川や砂防に関する出前講座にお応えします。お問い合せは当事務所まで。

職員の話に興味津々の子どもたち

好評につき昨年から引き続き
「刈草無料提供」を実施

太田川の堤防の適正な維持管理のために行う除草作業で発生する刈草を農業・畜産などに利用される方に無料で提供する取り組みが8月から10月まで実施され、15件（10月25日現在）の応募が寄せられました。

有効な資源として多くの方々に活用していただけるほか、焼却処分に要する費用を削減することができました。

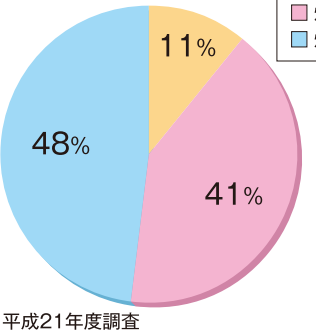
「刈草無料提供」は来年度以降も実施する予定です。皆さまのご協力をお願いいたします。

無料で提供された刈草

具体的な活用事例

広島市安佐南区にお住まいのご夫婦は、刈草を家庭菜園の敷草として活用。雑草や夜露を防ぐのに役立てています。

■応募者の刈草の利用目的



平成21年度調査

太田川河川事務所では、刈草の利用方法をホームページで紹介したいと考えています。みなさまの活用アイデアをお寄せください。

市民・企業・行政が連携した
「総合防災訓練」に参加

総合防災訓練の様子

8月31日、広島市佐伯区五日市町の西風新都商業・業務用用地と石内小学校で、防災関係機関、市民、企業、行政の67機関・約2,000人が参加し、地震や台風などの大規模な災害の発生を想定して総合防災訓練が行われました。

今回、太田川河川事務所からは照明車と排水ポンプ車が出動し、浸水対策支援作業の訓練を行いました。また、展示コーナーには「3D土砂災害体験装置」や「土石流模型実験装置」が設置され、多くの方が土石流の恐ろしさやメカニズム、土石流を防ぐ砂防えん堤の役割を学んでいました。

震度6弱の地震発生を想定して
「地震防災訓練」を実施

地震防災訓練の様子

太田川河川事務所では、9月15日午前8時に管内で震度6弱の地震が発生したという想定で地震防災訓練を行いました。

この訓練は、大規模地震に対して、国民の安全、生命、財産を保全するために、防災体制の確認を行い、職員の防災対策能力の向上を図ることを目的として行いました。

地震発生時の初動体制の確立に向けた行動の確認、災害対策支部の設置、発災から災害応急対策までの、被災状況の迅速かつ正確な把握・伝達、的確な指揮対策等の訓練を行いました。

日ごろの尽力に感謝
水門等操作員を表彰

安佐北区での表彰式

太田川河川事務所では、8月27日～9月30日、水門等操作員を長く務めていただいている方々への中国地方整備局長表彰と退職される方々への事務所長感謝状をお渡ししました。地域を水害から守るため、降雨の際には昼夜を問わず雨中で行われる水門等の操作に努めていただいたみなさんです。

10年勤続表彰／浜田 末春、川口 照夫、川口 奈賀子、谷川 真一郎、大原 正、児玉 稔
20年勤続表彰／茅原 スエ子、伊丹 剛
30年勤続表彰／香川 薫
40年勤続表彰／増村 伊勢雄、池田 仁、杉目 義雄
退職者表彰／戸田 均、前田 光則、矢口 文行、長嶋 秀男、西尾 ノリエ、西尾 哲、平原 昭子、平原 栄治、吉尾 耕治、河野 節夫、木林 久男、三ツ股 直彦

敬称略

みんなで楽しく安全に
河川敷はマナーを守って利用しましょう

河川の敷地は、散歩やピクニック、スポーツなど、誰でも自由に使用できる場所ですが、利用方法によっては、河川を管理している国や地方自治体の許可が必要な場合もあります。

また、ゴルフの練習やラジコン飛行機、水上バイク等の危険走行、ゴミの不法投棄などの危険な行為や迷惑な行為は、ひとつ間違えれば大きな事故・環境の悪化につながりかねません。みんなが楽しく安全に河川敷地を利用できるよう、マナーやモラルを守りましょう。

3D装置の体験コーナーを開設
「Koi Koiふれあい水辺フェスタ」

防災教室の様子

9月26日、太田川放水路の新己斐橋たもとの河川敷で「Koi Koiふれあい水辺フェスタ」が開催され、約4,000人の市民が集いました。

太田川河川事務所も、防災教室の講演や土石流体験コーナーを開設するなどして参加しました。土石流体験コーナーでは、土石流の危険性や危険予知などを3D映像に連動して座席が振動する装置を使ってわかりやすく紹介しました。

広島西部山系 植生図鑑 その7

種名 コナラ

科名 ブナ
タイプ 落葉高木

開花と実のなる時期　花　実　1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

いわゆるドングリの木です。熊の出没が全国的に話題となっていますが、広島西部山系内でも、実が若干小振りなようです。植生図鑑その1で紹介したアカマツと並び広島西部山系を代表する樹木ですが、アカマツが乾燥した花崗岩地帯で多く見られるのに対して、コナラは、太田川沿いの堆積岩が分布している地域で多く見られます。昔から炭材やほだ木として利用され身近な樹木です。高さ15～20mの落葉樹木で、樹皮には縦に不規則な割れ目が入ります。葉は互生し、ふちにははっきりとした鋸歯（きょし）※があります。

※葉のふちにあるギザギザのこと。

ホームページに「広島西部山系植生図鑑」を掲載しています。　太田川河川事務所　検索

太田川河川事務所広報紙「GoGi通信」　発行:国土交通省中国地方整備局 太田川河川事務所 計画課
〒730-0013　広島市中区八丁堀3番20号　TEL.082-222-9246　http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/